平成28年度　第1回あわら市図書館協議会 会議録

**１**　日　時　 平成28年5月27（金）　午後2時～

**２**　場　所　 芦原図書館　会議室

**３**　会議日程

1 開　会

2 委嘱状の交付

3 教育長あいさつ

4 委員長及び副委員長の選出

5 委員長あいさつ

6 協議事項

(1) 図書館の運営について

(2) 平成27年度図書館事業報告について

　　　　(3) 平成28年度図書館事業計画について

7 その他

8 閉 会

**４**　会議資料　　会議次第

**５** 出席委員　　八木敏恵・渡辺弘子・近藤順子・前田恵美・

伊佐田啓子・笹原美輪子・岩佐寛・小濱弘範・川崎扶美子

**６**　欠席委員　　蔵野幾夫

**７** 委員以外の出席者

　　　　　　大代紀夫(教育長)　笹井和弥（文化学習課長）

(事務局) 能美進(金津図書館長)

見野部素子(金津図書館司書)・河村みゆき(芦原図書館司書)

**８**　傍聴者　　　なし

**９**　開　会　　　　　（事務局：開会を告げる。）

10　委嘱状の交付　　（教育長から各委員に直接交付。）

11 教育長あいさつ

 　 お忙しい中ありがとうございます。2年間の委嘱ですが、図書館は、子どもたち、若い人からお年寄りまで、多くの方が来館される文化の要ともいえる大切な施設です。よりよい図書館にしていくために、この会議の中で、忌憚のないご意見を賜りたいと思います。

　　　どうしたら子どもたちが本を読んでくれるのか？私は、やはり親の姿で本をみて、本を読む確率が高いと感じます。親が本を読む家庭のお子さんは、本好きな子が多いです。ご家庭の中で本を読んでいただきたいと思います。現代社会は、共稼ぎで余裕がないのですが、その中で本のある環境づくりを工夫していっていただけたらと思います。

　　　先般全国学力テストが行われました。正式な発表ではありませんが、福井県サンプル調査の速報値が示され、国語Bでは、平均点が、小学校、中学校で５０点台と、昨年度より２０ポイント低かったようです。今年度は、読解力を問う問題が多くなったので、慣れる必要がありますが、小学校の授業で、本を読む力を養うには限界があると思います。今、子ども達に求められている学力は、沢山の情報量を短い時間で読み取っていく力です。

　　　私が申し上げたいことは、学力テストがどうこうということではなく、子ども達に文字に触れて欲しいということです。是非、子ども達が、紙で文字を読んで、ものを考えるということを啓発していってほしいと思います。

　　　そういうことも踏まえて、今年度より、芦原・金津中学校に配属されている２人の図書館の司書の方に小学校へ出向いていただく予定です。

11　委員長及び副委員長の選出について

　　　委員長に岩佐委員、副委員長に川崎委員を選出。

12　委員長あいさつ（岩佐委員長）

　　　新聞の記事で、東北大震災の折、気仙沼図書館が、３週間で再開したという記事を読みました。なぜ、早く再開したのか。こういう時だからこそ、情報の大切さ、そして、瓦礫だらけの食べ物をはじめとする物不足の中で、市民は、人間らしく感じられる居場所が欲しかったと。図書館は電気や水道などと同様、社会を支える最もベーシックなところにある一つの重要なインフラであることに気付かされたという記事を読み、図書館の大切さを感じました。

13　庶務報告（事務局）

定足数（半数）について、委員１０名中９名出席による会議の成立を報告する。

14 協議事項

規定により、岩佐委員長が議長となり会議を進める。

協議事項の （１） 図書館の運営について （２） 平成２７年度図書館事業報告についての順に、事務局において説明を行う。

15　質疑応答

議　長　 　 事務局から説明がありました、「図書館の運営について」「平成２７年度図書館事業報告について」ご質問ご意見等はありませんか。

議　長　　　「平成２７年度図書館事業報告について」１　蔵書統計＊年度別蔵書状況一覧（P7）

 の年度別蔵書状況一覧の受け入れ冊数　内訳で寄贈本の数が出ていましたが、この寄贈本は、どんな本でもよいのですか。

　事務局　 　金津図書館では昨年は、県内の発掘調査の報告書や友好姉妹都市である茨城県下妻市からの寄贈本を大量にいただきました。寄贈していただきたい本としては、郷土資料（特に自費出版）、ベストセラーになっている小説などです。

　議　長　　　利用状況のレファレンス数の内容について、教えてください。レファレンスというのは、どういった内容のレファレンスがありますか。

　事務局　　　本がどこにありますか？みたいなことは、レファレンス数に入れていません。やはり郷土資料関係の問い合わせが多いです。

　議　長　　 3.　活動及び行事の中で、ブックスタート、ブックトーク、ストーリーテリングなどの言葉がでてきましたが、私たちは、その違いがはっきりわからないのですが、事務局の方で説明していただけますか。

　事務局　　　ブックスタートは、６ケ月検診時にボランティアの方と「絵本」と「赤ちゃんと絵本を楽しむ体験」をプレンゼントする活動で、ブックトークとは、１つのテーマを決めて、5～7冊ぐらいの本を複数の聞き手に紹介すること、また、ストーリーリングは、素話（お話を覚えて語って聞かせること）です。読み聞かせは、本を見せて読むことです。

　事務局　　　他にご意見はありませんか？

委員 I　　　同じく　3.　活動及び行事の中で、金津図書館のかるた大会「蓮如さんかるた」であそぼうですが、蓮如さんかるた　少し難しいのではと思いますが、子ども達の反応はどうだったのですか。

　事務局　　　１～５年生の子が参加して、楽しんでいました。

　委員 I　　　少し宗教色が強いので、どうかなっと感じたのですが・・・

　事務局　　　競争でカルタを取っていますから、内容はあまり関係ないようでした。

議　長　　　それでは、他に質問がありませんか。ないようでしたら、（3）平成２８年度図書

館事業計画について　事務局より説明願います。

協議事項の（３）平成２８年度図書館事業計画について事務局において説明を行う。

議　長　　　事務局から説明がありました「平成２８年度図書館事業計画について」、それ以外のことについてでもかまいませんが、ご質問ご意見等はありませんか。

委員F　　　ブックトークについてですが、金津図書館は、金津地区小学校全クラスで実施していますので、子どもの本に対する興味を促すという意味でも芦原地区の小学校でもしてほしいと思います。

　事務局　　　芦原図書館は、職員数は５名ですが、２名の臨時職員は月１０日に勤務ですので、なかなか難しい面があります。今までも各小学校から依頼がありましたら、ブックトークをお引き受けしていました。ただ、図書館から芦原地区の各学校へブックトークどうですか？という形で申し出れば、たぶんすべての小学校から依頼があると思うのですが、ブックトークに出かける職員は決まった職員ですので、図書館業務全体を考えると難しい面があります。正採用の司書を増やしていただけると助かります。

　委員F　　　金津図書館から芦原地区の小学校へブックトークに来てもらったらどうでしょうか？

　事務局　　　金津図書館も１人の職員がブックトークに行っておりますので、金津地区の小学校だけで手がいっぱいの状況です。

　議　長　　　前回も正採用の司書を増やしてほしいという話がでましたが、課長どうでしょうか。また、前回まちづくりという視点から給水器、道路のことなど出ましたがいかがでしょうか。

課　長　　　司書採用については、要望しておりますが、私の力不足で、今後教育長から申し入れをしてもらう予定です。道路については、金津図書館前の道路を石畳風にする工事が完了しました。

議　長　　　他に何かありませんか。

16　閉　会（議長に続き、事務局から閉会を告げる。）